

2面	まちだ市民大学HATSの環境塾! 町田市学校支援ボランティア 感謝状贈呈式
3面	食育・環境教育の推進 「全国学力・学習状況調査」結果公表
4面	紙芝居がやってきた! 第1回中学生「東京駅伝」

まちだの教育

2010年
3月21日
No. 75



施設概要	
【敷地面積】	30,763.23㎡
【延床面積】	計10,447.95㎡
校舎棟	9,825.12㎡
プール附属棟	236.61㎡
学童クラブ棟	386.22㎡
【主要施設】	
普通教室	24教室、オープンスペース、展示室、少人数教室
特別教室	図工室、音楽室、理科室、家庭科室、図書室、パソコン室、多目的室
管理諸室	校長室、職員室、事務室、用務主事室、保健室、教育相談室、PTA室
特別支援教室	学習室、小教室、実習室、プレイルーム
通級指導教室	指導室、作業室兼調理室、プレイルーム
その他	給食室、教材室、エレベーター1基(15人乗り)
体育施設	アリーナ(38m×24m)、グラウンド(7870㎡)、屋外プール(25m、6コース)



小山中央小学校が開校します

町田市では、マンション建設などにより、児童数の増加が著しい小山・小山ヶ丘地区に、新しく「小山中央小学校」(小山ヶ丘3丁目7番地1)を開校します。開校に先駆け3月27日(土)には「小学校落成式典」を実施します。また、4月6日(火)には「始業式」、2010年度新一年生を迎えた「入学式」が行われます。

小山中央小学校の特徴

小山ヶ丘小学校と同じオープンスペース型の普通教室を

学校建設の基本方針

建設にあたっては「教育環境への配慮に優れた安全・安心で、かつ維持管理に重点を置いたライフサイクルコストを考慮した、創造性のある学校」をコンセプトとし、以下の学校づくりを行いました。

- 多様な学習形態に対応し、豊かな教育活動が出来る学校
- ノーマライゼーション(障がいのある人も障がいのない人も同じように社会の一員として、社会参加し自立して生活できる社会を目指す)の理念を生かした学校

「小山中央小学校」は小山・小山ヶ丘地区で3校目となる小学校であり、この開校によって市立小学校数は42校となります。これにより、3月1日現在で1204名が通学する小山ヶ丘小学校の大規模校化は解消されていくこととなります。

この新設小学校の場所は、京王相模原線多摩境駅から東側約600mに位置し、南側が保存緑地に面しています。



▲オープンスペース型の普通教室



▲グラウンドからの校舎棟(地上3階建て)



▲校舎と一体的に配置された体育館



▲「光庭」に面した「ふれあいコーナー」

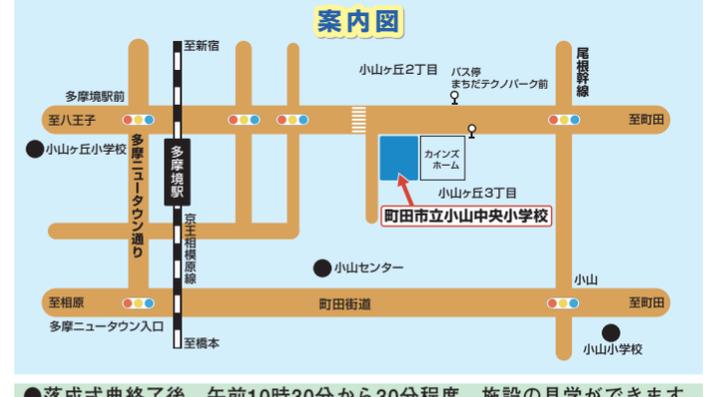
採用しています。普通教室とオープンスペースとの間に必要に応じて可動間仕切壁を設置して、多様な学習形態に対応できるようにしています。

また、十分な採光が得られるよう、全ての普通教室を南側に配置し、北側道路からの騒音の影響が少ない落ち着いた学習環境にしています。

安全面にも配慮し、児童と自動車の動線を分離し、電子錠や防犯カメラの設置のほか、職員室などの管理諸室からグラウンドや登下校の児童の様子を確認できるようにしています。敷地内には、学童保育クラブも設置されています。

太陽光発電設備やトイレ洗浄水等に雨水再利用をし、環境負荷の少ないエコスクール(環境を考慮した学校施設)としても整備しています。

また、地域開放する部屋を全て1階にまとめ、地域の文化活動やコミュニティ活動等、生涯学習の場としても利用しやすいようにしています。



●落成式典終了後、午前10時30分から30分程度、施設の見学ができます。

小学校全校に児童図書が寄附

「ありがとうございませう」

今年2月、社団法人町田法人会から小学校全41校に児童図書の新本618冊の寄附があり、各校の学校図書館の資料充実に貢献していただきました。

子どもたちは多くの本に囲まれ、日々、調べ学習や読書に親しんでいます。これからも、学校支援ボランティア(図書指導員)の方々の力をお借りしながら読書環境の充実に取り組む、生涯を通じた読書の楽しさを身に付けてほしいと願っています。



▲学校図書館での読書



児童・生徒表彰式

学校名	名前	活動内容
町田第五小学校	小野 大成	野球
南大谷小学校	竹本 直矢	サッカー
藤の台小学校	福田 侑輝	野球
南第一小学校	エンジェルキッズ	チアダンス
小川小学校	★SPECIAL MINNY'S★	
鶴岡小学校		
南成瀬小学校		
南第二小学校	奥田 昇大	野球
鶴川第二小学校	合唱 団	合唱コンクール
小山田小学校	木村 祥太郎	サッカー
南中学校	内山 海帆	体操
	松浦 優太	テニス
つくし野中学校	鶴川 美帆	水泳
成瀬台中学校	後藤 聖茂	図画コンクール
	片山 洸生	初期消火活動
南成瀬中学校	谷 萩史	陸上
	武山 詩歩	
鶴川中学校	中嶋 瑞穂	陸上
鶴川第二中学校	合唱 団	合唱コンクール
薬師中学校	三澤 恵	水泳
真光寺中学校	井上 絵理	新体操
	神村 万里	
	船越 香帆	水泳
	丸崎 明日香	
	奥長 咲帆	
金井中学校	関根 花観	陸上
	吉村 佳祐	
	高倉 悠輔	ソフトテニス
	加藤 理太	ピアノコンクール
忠生中学校	山口 奨太	ボランティア(地域貢献)
	佐藤 拓末	伝統芸能の継承(祭囃子)
山崎中学校	一倉 勇志	水泳
	伊藤 翼	
	山田 光	
堺中学校	小林 優輝	作文コンクール
武蔵岡中学校	吹 奏 楽 部	ボランティア(地域貢献)

2009年度 町田市教育委員会 児童生徒表彰を行いました

町田市教育委員会では、様々な活動の場において一生懸命努力している児童・生徒を応援するため、有益な活動や他の模範となるような行いを

した場合、また、文化・スポーツにおいて優秀な成績を上げた場合に、その活躍や努力に対し表彰を行っています。

今年度の町田市教育委員会

児童・生徒表彰式は、3月8日(月)に町田市民フォーラムのホールにて行われました。個人、団体を合わせて35組の児童・生徒が表彰され、教育長より表彰状が授与されました。

今回の表彰は、受賞した皆さんの日頃の成果です。これを励みに今後も活躍を期待しています。



▲町田市民フォーラム・ホールでの表彰式

まちだ市民大学HATSの環境塾！

エコ・アクションで町田の豊かな自然を子どもたちに残そうよ



ふるさと再発見！

まちだ市民大学HATSの環境講座では、2009年5月7日に『まちだ de エコ・ツアー2009！』をここから始めるエコ・アクションと銘打った参加体験講座を実施しました。

町田において、水・みどり・ごみについて環境保全活動に取り組んでいる市民団体やNPO、大学サークルなどを訪ね、一緒に保全林に入り笹



▲ザリガニ捕獲大作戦！

を刈ったり、保水の森の竹を切ったり、清流に入りザリガニ駆除をしたりしました。

私たちが忘れていた自然への愛着が体のなかで再発酵し、ふるさとを再発見できる、そんな講座といえます。

また、そうした体験学習のほかに、市内のごみ処理施設や下水処理施設の見学、町田駅周辺の「ポイ捨て防止パトロール」への参加など、エコに取り組む市民協働の現場も体感できます。

素朴ながらも、地に足のついたエコがここにありませう。「エコ市民が未来を拓く！」そんな講座を目指しています。現在募集中の『まちだdeエコツアー』（コース制、定員24名）の内容は以下の表をご覧ください。

コースは全部で3コースあり、Aコース（全8回）は表の①②③④⑤⑥⑦⑧、Bコース（全8回）は表の⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲、ABコース（全11回）は表の①⑩⑲です。参加費はどのコースを選んでも1千円です。

この他にも、まちだ市民大学HATSでは、自然、福祉、元気学、国際学、郷土史、陶芸、人間科学の講座を募集しております。詳細な内容につきましては、募集案内の冊子をご覧ください。

募集案内の冊子は、市役所、森野分庁舎、各図書館、各市民センターなどの市の主な施設で配布しています。ご応募お待ちしております。



▶リサイクル文化センターの見学

エコ市民が未来を拓く！

以上のように、市民大学HATSの環境講座は、エコに取り組む市民の学習活動を支援し、町田を再発見しながら持続可能な社会のあり方を模

募集案内添付の「往復ハガキ」を使用するか、市販の往復ハガキに希望する講座名・コース名・住所・氏名・電話番号、差し支えない範囲で年代・職業を明記して、4月8日（木）まで（必着）にまちだ市民大学HATS（〒194-0022、町田市森野1-33-10、町田市森野分庁舎内）へ郵送して下さい（返信用ハガキにも住所、氏名を明記）。

テーマ	日時	活動内容	場所
① 基調講義 「エコ・アクションのすすめ」	5/8(土) 18:00~20:00	講義（講師 和光大学 教授 堂前 雅史）	森野分庁舎
② 「発見！ まちだ de エコバスツアー」	5/16(日) 9:30~16:30	森野分庁舎～鶴見川源流のひろば～城山展望台～大地沢青少年センター～中島牧場～東京みるく工房ピュア～忠生公園を見学	同左
③ 「ごみを減らす 町田のチカラ」	5/22(土) 10:00~15:00	リサイクル文化センター・剪定枝資源化センターの見学	同左
④ 「駅前再発見！ マナーアップを目指して！」	5/29(土) 10:00~12:00	駅前ポイ捨て防止パトロールへの参加	町田駅 周辺地区
⑤ 「私たちの出した 水のゆくえを知るツアー」	6/5(土) 9:30~12:00	成瀬クリーンセンターの見学	同左
⑥ 「生きものの賑わい！ 川のユートピアをまもろう！」	6/12(土) 10:00~12:00	わんどの会の指導により、関山橋わんどの湿性植物保全と管理活動について学び、草刈り、掃除、生物調査、環境整備作業に参加する。	鶴見川関山 橋付近・大蔵

テーマ	日時	活動内容	場所
⑦ 「夏至の木々たち！ 雑木林に囲まれた緑地の秘密！」	6/20(日) 10:00~12:00	みどりのHATSの指導により、金森山緑地の概要と四季別変化について学び、緑地の掃除と草刈り、樹木の調査などを行う。	金森山緑地
⑧ 「保水を学ぼう！ これぞ竹切り三昧！」	6/27(日) 14:00~16:00	NPO法人鶴見川源流ネットワークの指導により、保水の森の復元計画と作業の概要を学び、竹林の伐採整理の作業に参加する。	鶴見川源流 保水の森・上小山田
⑨ 「みどりの息吹！ 草刈りハーモニー！」	7/3(土) 9:30~12:00	きつねくぼ緑地愛護会ときつねくぼ緑地の沿革、及びそこでの環境保全の取り組みについて学び、緑地内の草刈り、植物観察などを行う。	きつねくぼ 緑地・鶴川 付近
⑩ 「川ってどのくらい透明？ 水に親しむお掃除隊！」	7/11(日) 9:30~12:00	エコネット町田 真光寺川部会と開戸親水・下堰親水の川の掃除作業、川の透視度・水質の調査などを行う。	真光寺川下 堰親水付近・能ヶ谷
⑪ まとめの話し合い 「今日からは始めるエコ・アクション」	7/25(日) 16:30~19:00	講義（講師 和光大学 教授 堂前 雅史）	森野分庁舎

問い合わせ まちだ市民大学HATS ☎729・1195

教育委員会の動き

9月～2月

平成21年9月から2月までに定例会6回、臨時会2回が開催されました。その間34件の議案を審議し、4件を協議し、2件の請願、40件の報告を受けました。以下に、その主なものをお知らせします。

【議案】

○2010年度町田市教育委員会教育目標、基本方針及び施策方針について
【協議事項】
○町田市スポーツ振興計画

（素案）の中間報告について
○第二次町田市子ども読書活動推進計画の策定について
【請願】
○DVD「天皇陛下御即位から二十年」の学校での上映に関する請願・・・不採択
○自国の伝統・文化を大切にすることを育む取り組み御即位20年祝賀行事を機会にーに関する請願・・・不採択

○町田市立中央図書館とまちだターミナルパーキングとの提携について
○市民センターにおける返却資料受取りサービスの開始について
○町田市スポーツ振興計画の策定について
○町田市教育委員会生涯学習センター機能検討委員会設置要綱の制定について

「町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式」を開催しました

3月1日（月）に町田市市民フォーラムにおいて、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式を開催し、学校の先生や保護者・地域の方々、約170人が参加しました。小・中学校では、様々な形で学校を支援して下さる方が増えてきており、児童・生徒に対するきめ細かい指導ができるため、落ち着いた授業態度につながったことや、登下校の安全確保、さらには、図書ボランティアの存在で、学校図書の利用が進み、読書量が増加したこと等の成果があがっています。

2009年度学校支援ボランティア感謝状対象者【団体・個人】（敬称略）

学校名	団体名	支援内容	学校名	名前(個人)	支援内容
1 本町田東小学校	町田茶道会	授業支援ボランティア	12 鶴岡小学校	宮坂 武利美	食育支援ボランティア
2 南第二小学校	町田読心スクール	日本語支援ボランティア	13 成瀬中央小学校	高橋 弘光	学校支援ボランティア
3 つくし野小学校	クラフはんどれつ	学校セーフティーボランティア	14 鶴川第一小学校	比嘉 晃	食育支援ボランティア
4 小川小学校	小川コミュニティ委員会	コミュニティ委員会	15 鶴川第三小学校	小菅 昭吉	授業支援ボランティア
5 鶴川第二小学校	図書ボランティア	図書ボランティア	16 鶴川第四小学校	本島 禮子	学校セーフティーボランティア
6 大蔵小学校	大蔵田んぼを育む会	食育支援ボランティア	17 金井小学校	国定 加茂	授業支援ボランティア
7 三輪小学校	サタディスクール	学校支援ボランティア	18 小山田小学校	加茂 公朗	学校支援ボランティア
8 忠生第一小学校	忠生第一小学校おやじの会「くすのき会」	学校支援ボランティア	19 小山田南小学校	齋藤 彰	食育支援ボランティア
9 山崎小学校	おはなしほけつ	図書ボランティア	20 忠生第三小学校	薄井 薫一	学校支援ボランティア
10 木曾堀川小学校	図書ボランティア	図書ボランティア	21 山田南小学校	三沢 清	食育支援ボランティア
11 七国山小学校	七国山ボランティア	学校セーフティーボランティア	22 山田南小学校	薄井 薫一	食育支援ボランティア
12 小山小学校	見届け隊	環境整備・美化ボランティア	23 小山ヶ丘小学校	高野 さゆり	図書ボランティア
13 鶴川第二中学校	花壇ボランティア	環境整備・美化ボランティア	24 相原小学校	村上 麻美	図書ボランティア
1 町田第二小学校	河野 英夫	学校セーフティーボランティア	25 町田第二中学校	荒井 明美	図書ボランティア
2 町田第三小学校	寺井 美佐穂	学校支援ボランティア	26 南大谷中学校	吉川 晶子	図書ボランティア
3 町田第五小学校	吉岡 淳子	図書ボランティア	27 成瀬台中学校	中澤 葉子	図書ボランティア
4 南大谷小学校	松田 祐子	図書ボランティア	28 南成瀬中学校	水越 規容子	図書ボランティア
5 本町田小学校	小原 信夫	授業支援ボランティア	29 南成瀬中学校	渡邊 和泉	部活動支援ボランティア
6 本町田小学校	浅見 吉雄	コミュニティ委員	30 鶴川中学校	小野 睦子	環境整備・美化ボランティア
7 本町田小学校	石田 忠	学校セーフティーボランティア	31 真光寺中学校	藤牧 素子	学校支援ボランティア
8 南第一小学校	成田 志野女	図書ボランティア	32 木曾中学校	高嶺 万喜与	授業支援ボランティア
9 南第三小学校	榎本 珠美	学校支援ボランティア	33 堺中学校	遠藤 隆二	学校支援ボランティアコーディネーター
10 つくし野小学校	小池 常雄	環境学習支援ボランティア	34 武蔵岡中学校	齋藤 律子	図書ボランティア
11 成瀬台小学校	市川 直子	学校支援ボランティアコーディネーター			

食育・環境教育の推進



テーマ「どこから来るの？ 私たちの食べ物」

- ・身近なメニューの買い物ゲームから見る、日本の食の実態
 - ・食を輸入に頼ることの意味・・・相手国の資源の利用
 - ・私たちの食と環境のつながり・・・
 - ・バーチャルウォーター・フードマイレージ
- ※生徒の興味を促すように、ゲーム形式の内容も取り入れています。



テーマ「地球にやさしい食とは & 鶏肉の価格」

- ・フードマイレージの低い食べ物
 - ・価格調べの結果(鶏肉・豆腐)
 - ・鶏肉が手元に届くまで(寸劇)
 - ・グループ討議
- 「スーパーの店長になってみよう!」



▲環境教育(緑のカーテン作成のため地域の方と土の準備作業)

町田市教育委員会では、子どもたちが自分の生活を見直し、環境に配慮した行動を実践することや豊かな自然体験をすることなど、環境保全や自然保護に取り組む環境教育を推進しており、「ごみ問題」、「大気汚染」、「水質汚濁」、「地球温暖化」、「騒音・振動」等、子どもたちの身の回りで起こっている課題に目を向け、自分たちができることについて考える機会を設けています。

今回は、「地域とともに考える食育・環境教育の在り方」と題して、2008・2009年度の2年間研究推進校だった南成瀬中学校の実践例を紹介いたします。

実習「手づくりとうふに挑戦」

- ・豆腐作りは、調理室を使うため、各クラスごとに実施し、本職の豆腐屋さんに指導をお願いしました。



『小中一貫教育モデル校 報告会』を開催しました

学校における様々な教育課題が増えてきているため、町田市教育委員会ではこれらの課題解決に当たるために小・中学校の9年間を見通した「小中一貫教育推進事業」を行っています。

今年度は「小中一貫教育モデル校」の指定を受けた小学校6校、中学校5校が、以下のような創意・工夫ある取り組みの成果を報告しました。



▲小中一貫モデル校報告会の様子

を受け、「言語力を育てる小中一貫教育の推進」をテーマに3校合同による校内研究会を実施し、9年間の連続性に着目した授業改善を行いました。

また、小中高生が練習の成果を発表しあう「サタデーコンサート」を開催しました。

互いの授業を見学したり児童・生徒アンケートを実施する事で、共通の課題や今後の取り組みを明確にしました。

木曾境川小学校・木曾中学校

モデル校3年目。「地域で子どもを育てる」を理念に「教員の連携」「児童・生徒の連携」「カリキュラムの連携」「地域との連携」を四つの柱として実践を重ねました。

今年度はスクールカウンセラーの共同活用や、中学校教員の小学校への出前授業、小・中学生の地域参加(派遣)などに取り組みました。

大戸小学校・武蔵岡中学校

モデル校3年目。「小中9年間を通した考える力の育成」をテーマに小・中学校教員の連携による指導や、教材教具の相互活用など、教科連携を進めてきました。

また、運動会や、セーフティ教室、挨拶運動、地域清掃など小・中合同行事を開催しました。

南大谷小学校・南大谷中学校

モデル校2年目。学力向上に向け、「話す・聞く」を中心に共同研究を行いました。

小・中学校の教員が互いに学び合い、情報交換をし合う合同研修会や、運動会(体育祭)や作品展など行事等の見学を互に行いました。

今回の報告会には、学校の先生や保護者・地域の方等107名が参加されました。

参加者からは、「家庭教育の連続性が学校教育に結びつくことは難しい時期にある。小中一貫教育の重要性を今感じている時代はない。」「小・中学校の教員間の連携が密になることは保護者としてはとても嬉しい。」「などの感想や意見が多数寄せられ、小中一貫教育への関心の高さが伺えました。

東京都教育の日「食育講演会」の報告

町田市教育委員会では、東京都教育の日の関連事業として、10月31日(土)に教育シンポジウムを開催しました。

今回の講演会では、本市で推進している小中一貫教育の柱の一つである食育に焦点を当て、「食育講演会」を開催し、約140名のご参加をいただきました。

講師の東京家政学院大学の倉田澄子教授の講演「健康で

豊かな食生活の実践」は大好評で、「なぜ、いま、「食育」なのか」というテーマをもとに、児童・生徒における朝食欠食者の増加や肥満・生活習慣病の増大、伝統ある食文化が失われつつあることや、食育は伝統文化の継承や人間形成に寄与するもので、子どもたちの成長に大きな影響を与えることなどについて話されていました。

「生活習慣と健康づくりの8項目を今後の生活にも生かしていきたい、多岐にわたる内容で統括的な理解が図れてよかった、教職員・保護者へ

▲「東京都教育の日」講演会の様子

の講演会の講師として是非講演していただきたい。」などの感想が寄せられました。今後は、学校、家庭、地域が連携して更なる食育の推進につとめて参りたいと思います。

【調査結果から】

町田市の平均正答率は、小・中学校共に、東京都・全国とほぼ同じ数値を示しています。

また、小学校国語・算数、中学校数学の知識・技能を「活用する力」に全国的に課題があることがわかりました。

改善策として、

- ・小学校の段階では、自分が考えたことを明確に表現するために、文章と資料とを関係付けて表現したり、根拠となる事柄を明らかにして説明したりする習慣を身に付けること
- ・中学校の段階では、数や図形について成り立ちのような事柄を予想し、予想した事柄を正確に表現し、別の具体的な場合で確かめたり、実生活の場面における問題解決では、事象を理想化・単純化して数学の問題としてとらえたりする学習を取り入れること

などが大切だと考えます。

「全国学力・学習状況調査」の結果表

【小学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正当数/問題数

	国語		算数	
	A: 主として知識	B: 主として活用	A: 主として知識	B: 主として活用
町田市	71.2% (12.8/18)	52.7% (5.3/10)	79.0% (14.2/18)	59.0% (8.3/14)
東京都	71.6% (12.9/18)	53.6% (5.4/10)	79.7% (14.3/18)	58.7% (8.2/14)
全国	69.9% (12.6/18)	50.5% (5.1/10)	78.7% (14.2/18)	54.8% (7.7/14)

【中学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正当数/問題数

	国語		数学	
	A: 主として知識	B: 主として活用	A: 主として知識	B: 主として活用
町田市	76.8% (25.3/33)	73.8% (8.1/11)	64.2% (21.2/33)	57.9% (8.7/15)
東京都	77.0% (25.4/33)	73.8% (8.1/11)	62.6% (20.6/33)	56.8% (8.5/15)
全国	77.0% (25.4/33)	74.5% (8.2/11)	62.7% (20.7/33)	56.9% (8.5/15)

「全国学力・学習状況調査」の結果を公表しています

町田市教育委員会では、広く市民の皆さまに本市の学校教育へのご理解・ご協力を得ることを目的とし、昨年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を2009年10月7日から市のホームページで公表しています。

～公表結果へのアクセスについて～

町田市ホームページ→暮らしのガイド→教育委員会→学校教育→全国学力・学習状況調査の結果の公表について

「紙芝居がやってきた！」

4月24日(土)～7月4日(日)

町田市民文学館ことばらんど
10時～17時 入場無料

*月曜・第2木曜休館(ただし5月3日は開館)

この春、町田に「紙芝居」がやってきます。

皆さんは、「紙芝居」といって思いつくことは何でしょうか？ 太鼓や拍子木の音、駄菓子のお味を思い出すのは、おじいちゃんやおばあちゃんの世代でしょうか。保育園や幼稚園の先生の顔を思い起すのは、小学生や中学生の若い世代かもしれません。

でも、目を見開いて、時には、口までポカンと開けながら、身じろぎもせずに夢中で見た懐かしい記憶は、誰もが同じように思い当たることでしょうか。

そもそも、紙芝居はどのように誕生したのかご存知ですか？ なんと、その源流は江戸時代までさかのぼることが出来ます。そして様々な変遷を経て、昭和5年頃に「平絵」と呼ばれる、現在の紙芝居が生まれました。

紙芝居はあつという間に大人気となり、自転車に乗ってやってくる紙芝居屋さんの拍子木の音を、多くの子どもたちが心待ちにしました。「黄金バット」や「鞍馬天狗」、「墓場キタロー」などを懐かしく思い出す人も多いことでしょう。これがいわゆる「街頭紙芝居」です。

しかし、子どもの好奇心を

あおる、刺激の強いものが盛んに作られるようになり、大人たちから批判を浴びるようになっていきます。

また一方では、紙芝居の影響力を教育に活用しようという動きも出てきます。これが現在の保育園や幼稚園で行われている紙芝居に通じる「教育紙芝居」の始まりです。

紙芝居のメディアとしての有用さは誰もが認めることとなり、戦争が始まると、国民に戦争協力の思想を教化するための手段として用いられます。

戦後はGHQの検閲の下、民主主義思想等を広めるための紙芝居が作られ、一方で、荒んだ戦後社会の子どもたちを楽しませるために「街頭紙芝居」がいち早く復活、あの「黄金バット」も再登場します。

その後、テレビの普及や子どもたちの生活環境の変化とともに「街頭紙芝居」は衰退。街角からは紙芝居屋さんの姿は消えていきました。

そして、現在。ふたたび紙芝居が注目されています。なぜでしょうか？

本展では、紙芝居の歴史をひもときながら、その懐かしい世界と新しい発見をお見せしたいと思います。

むずかしい説明は不要です。家族みんなで昔から現在にいたる様々な紙芝居を見て楽しんでください。

そして、再び脚光を浴びている紙芝居のもつ魅力の秘密を、皆さんそれぞれに解き明かしていただければと思います。

関連イベント
土曜紙芝居上演会

日時 5～6月の毎週土曜日
午後2～3時

会場 町田市民文学館2階
展示室「スペースふみくら」

上演 町田かみしばいサークル「ふわふわ座」

内容 毎回違う作品を上演します。

対象 興味のある方はどなたでも歓迎です。

申込み 不要。直接会場にお越し下さい。(席数15席)。

問い合わせ 町田市民文学館
ことばらんど(T194・0013 原町田4・16・17
739・3420)へ。

中国・韓国から教育視察団が訪れました

昨年の12月14日、日中相互の交流や研究の機会を通して教育の充実発展を図るため、中国・北京市朝陽区の教育行

第1回中学生「東京駅伝」『心をひとつに 絆をつなぐ!』



チーム町田

本日3月21日、区市町村対抗の第1回中学生東京駅伝がスタートします。中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興を目的として、都内の中学2年生を対象に行われます。チーム町田の選手たちは、

政の責任者を中心とした教育視察団が図師小学校と鶴川中学校を訪れました。

図師小学校では、地域のボランティアの方が本を読み聞かせる様子や音楽や体育の授業を見学、また、学校給食等を体験し「市の教育の充実ぶりに大変感動した」と話していました。

1月27日には日本の学校の授業を参観し、教材や教員、指導技術等について学ぶため、韓国の小学校教員を中心とした教育視察団が金井小学校を訪れました。授業参観は同時

この日まで自分の目標タイムを設定し、一生懸命練習して記録向上を目指しました。2月14日(日)には、会場となる中央区晴海埠頭特設会場で試走会を行い、本番に向けての意欲を高めてきました。中学校の陸上部の先生たちも、何度も打ち合わせをして、休日の練習を指導しました。

また、町田市立陸上競技場が改修のため、三井住友海上玉川研修所グラウンドを練習場としてお借りする等、皆さまに、ご支援ご協力をいただきました。

男子キャプテン
吉村佳祐さん(金井中学校)

僕たちチーム町田は、上位入賞を目指して、今までがんばってきました。当日は、チーム一丸となって精一杯走りますので、応援よろしくお願ひします。

女子キャプテン
関根花観さん(金井中学校)

私たちは町田市代表チームの一員としての自覚をもち、日々の練習の成果を本番では発揮したいと思えます。一人一人の思いをたすきにこめて一秒でも速く走れるようにがんばります。皆さん応援よろしくお願ひします。



▶試走会の様子

通訳により行い、「低学年の子どもたちも、しっかりと話が聞けている。先生の問いかけも優しく丁寧に素晴らし」との声が上がりました。

職員との懇談では、規範教育のあり方や教育問題への対応方法など様々な意見が交わされ、活発な交流が行われました。



▶地域のボランティアによる本の読み聞かせ(図師小学校)



▶授業参観の様子(金井小学校)

2010年度(平成22年度)

町田市教育委員会

教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

基本方針1 子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成

日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、人権尊重を柱とする町田市子ども憲章の趣旨を生かして、次代を担う子どもたちに、将来の職業や生活を見通して社会の中で自立的に生きる力や生涯にわたって学び続ける意欲、健やかな精神や豊かな心をはぐくみます。

基本方針2 学校の教育力の向上

様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教育環境を充実・整備し、教師の指導力を含めた学校の教育力の向上を図ります。

基本方針3 家庭、地域、学校が連携した教育の推進

保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した健全育成などの教育の取組を進めるとともに、情報発信や公開、学校評価を充実し、信頼される学校づくりを進めます。

基本方針4 生涯学習の推進

市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。